



自分で自分の命を守れる子供に育てる

校長 早川 修一

夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。今年は猛暑続きで、校庭開放は暑さのために中止の日が多く、夏休み中に子供の声が校庭から聞こえる日が少なかつただけに、いつもより一層うれしさを感じます。

猛暑の中での夏季水泳指導、学力補充教室は、熱中症に十分配慮しながらの実施となりましたが、事故なく無事に終えることができました。水泳指導は、予定していた15日間のうち強風と雨で中止したのが1日だけで、のべ2,723人の子供たちが参加し、泳力を伸ばしました。

9月15日(土)からは、学校応援団のご協力で土曜日の校庭個人開放が始まります。毎週土曜日15時から、平日の放課後のように校庭で自由に遊べるようになります。子供たちがボール遊びをできる環境は校庭開放くらいしかない現状を考えると、休みの日も校庭で自由に遊べる時間があるのは、とてもありがたいことです。土曜日に、たくさんの子供たちが校庭で元気に遊ぶことを願っています。

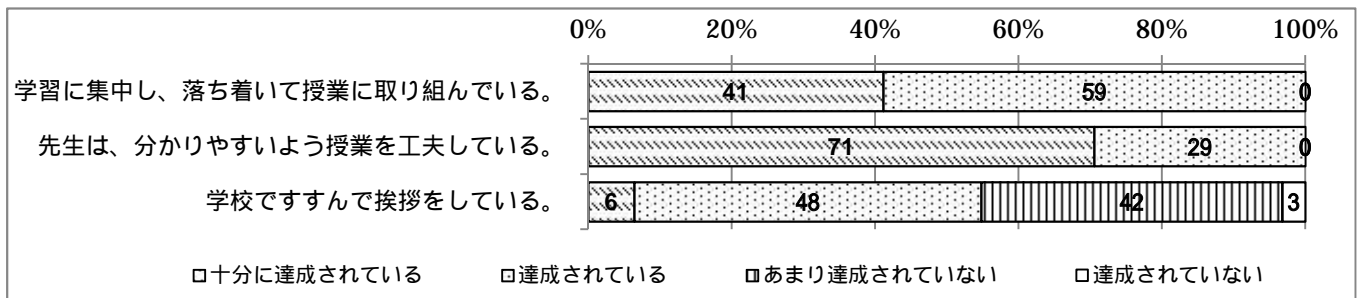
さて、6月に起きた大阪府北部地震、7月豪雨をはじめとして、残念なことです。今年も大きな自然災害が発生しています。このところ豪雨も多く、つい先日も練馬区で1時間に70mmを越える大雨がありました。

今週の土曜、8日は、向山小避難拠点連絡会を中心に、地域の方々や行政機関の協力を得て、防災訓練を実施します。子供たちは、協力してくださる方々の指導のもと、学年ごとに防災に関する体験学習をします。

地震にしても、豪雨にしても、いつ、どこで起きるか分かりません。大阪府北部地震では、登校中に、しかも学校の直前で児童が犠牲になるという、非常に痛ましい事故が起きてしまいました。学校施設の安全点検はもちろんのこと、通学路の危険箇所確認の重要性を改めて感じた事故でした。通常は、交通安全を考えて、道路の端、白線の内側などを歩くよう子供たちに指導していますが、大きな地震が来た時は、道路の端を歩くのは逆に危険です。自分の身を自分で守れるよう、いざという時にそのような判断ができる子供たちを育てなければいけないことも痛感させられました。

当日は引き取り訓練も実施します。保護者の皆様は、お子さんと下校される際、通学路の安全について、地震の際の安全、交通安全の両面から、お子さんに考えさせる機会としていただければと思います。

【第3回学校公開】平成30年7月3日(火)学校公開アンケート全校集計



学校公開にご意見や感想をお寄せいただきありがとうございます。一部ではありますが、下記に紹介させていただきます。いただいたご意見につきましては、これからの教育活動の改善に生かしていきます。

【授業に関して】

プールは炎天下で心配だったが、体育館を開放してもらい快適に見学できた。

プール指導は150人あまりをしっかりとめ、自分も子供の頃にこんな授業を受けたかった。

プールでは、先生方の連携が取れていて、子供たちをよくみていてくれてとても気持ちよかった。

プールの見学の子供たちは図書室に行くなどできないのだろうか。 水泳指導は、安全確保のために複数の教員で指導をしています。プールサイド以外の場所で見学をすると、水泳指導の教員が1名減ることになってしまうため、プールサイドの日陰を利用して見学させています。

水泳指導を2学年ごとに行っているようだが、入水している児童数が多すぎてとても危険。1学年ごとに指導する体制を取るべきだと思う。 1年生は、プールに慣れるために、数回は単学年で学習しています。6年生は、水泳記録会の練習のために単学年で学習します。これからは必要に応じて、さらに単学年の指導を取り入れていきます。

算数は、人形や運動会の玉入れを使ってわかりやすく説明されていて良かった。

算数の授業中、巡回指導の先生が子供たちをよく見てくれていた。姿勢のだらけた子に声をかけたり、落としたブロック回収を手伝ったりときめ細かく見ていただいていることを知った。

算数の授業は、ハードルが下がったように感じた。グループワークを追加するといいかもしい。

算数の授業で、クラス毎の人数が違うのに驚いた。大人数のクラスだと少人数のクラスに比べて子供の集中力がやや欠けていると感じた。

人数の違いは、習熟度別のクラス分けのため、個別指導が必要なグループは人数を少なくし、一斉指導で十分理解できるグループは人数を多くしています。今後も、学習成果がさらに上がる様々な学習形態を取り入れ、子供たちの興味関心を引く手だてを工夫していきます。

音楽の授業では、先生が緩急をつけながら授業を進めていて、子供たちは皆集中して取り組んでいた。

生活科の「町探検発表会」では、恥ずかしそうに発表する2年生と、一生懸命に聞き、クイズに正解すると喜ぶ1年生が双方とても微笑ましかった。地域について知ること、それを分かりやすく伝えること、下級生との交流を進めること・・・と、いくつも意味をもつ授業の在り方がすばらしいと感じた。

町探検発表会の声が小さく、聞きにくかったので、1年生が気の毒に感じた。 大きな声で発表できるように練習をさせていますが、個人差もご理解いただければと思います。

本の探検ラリーは、楽しい企画で、子供たちが集中して取り組む姿がすばらしかった。本を好きになるきっかけづくりという姿勢がよかった。

本の探検ラリーのお手伝い募集人数が多いため、保護者会の時に簡単な説明と9人必要だとアナウンスしてもらえたらよかった。 お手伝いありがとうございました。できるだけ分かりやすくお伝えしていきます。

理科の「生命のたんじょう」では、模型などを用意し、子供でも理解できるように工夫がされていた。

外国語は補助の先生がついていてよかった。

外国語授業で、全く日本語のないヒアリングは難しいと思った。 新しいゲームなどは説明することもあります。繰り返すことで聞き取りに慣れ、理解することができるよう進めています。

【その他】

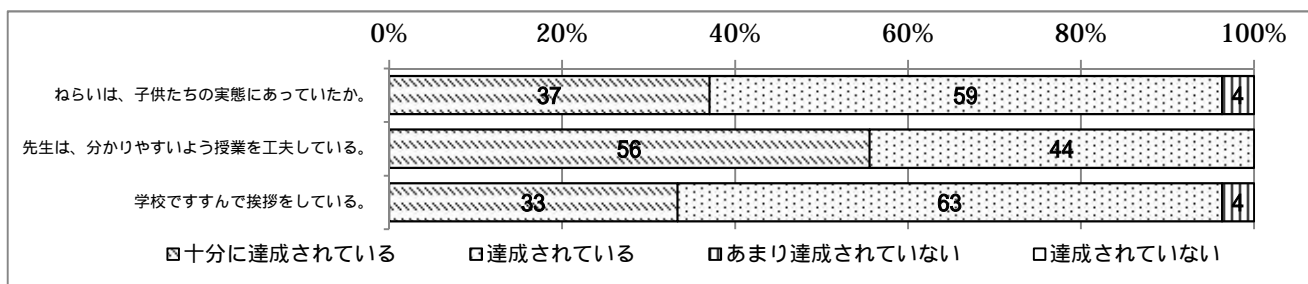
授業中の悪ふざけは、注意すべきではあるが、一つの個性であると感じた。個性を生かしつつ、マナーやルール、態度面を自然と守れる子供になってほしいと思った。

教室移動の際、防災頭巾を持っていくことがありがたい。防災の意識を高く持てる指導がありがたい。

後方ドアが閉まっている教室が多く、入りづらく感じた。 冷房効果を上げるために閉めきっていることもありますが、遠慮なくお入りください。

教室後方は冷房が効きすぎていたように感じた。 座席位置により、冷房効果の差が出てしまうために、子供たちの様子を見たり、声を聞いたりしながら適切な温度調整に努めています。

平成30年7月14日(土) 道徳授業地区公開講座アンケート全校集計



【道徳授業】

題材がとても分かりやすく、子供も素直に考えられていたように思えた。担任の体験談も分かりやすく、子供の心に響いたと思う。

授業はとても難しいが、低学年から自分の考えを发表或し、他人の意見に耳を傾けたりすることは力になると思う。本来は家庭ですべきこと。道徳だけではなく、そのようなことが教育現場へ負担になっていることを申し訳なく思う。

「どうとくノート」をみて、感動した。ステップを踏んでいることがよくわかった。

最後にまとめプリントをさせ、頭に定着させるよう工夫がされていると思った。

登場人物の気持ちを文面から推測し、色々な意見が出ていた。明確な正解がある授業と違って、「なるほど。」とおもしろみがあった。

「教える」ということよりも、子供達が自ら「考え」「学ぶ」授業となるよう先生が工夫していて、子供達の発言が活発だったのが印象的だった。また、子供達も深く考えるとともに、他人の意見に真剣に耳を傾け、自分自身の意見と照らし合わせている姿を見て、成長を感じた。

やらされている挨拶や心がこもっていない挨拶では、相手にその気持ちが伝わってしまう。主体的な自分からやりたいと思える挨拶ができるような関わりを親子でもっていきたいと思う。

よいこと、よくないことの区別はつくが、いざとなった時、自らしっかりと判断できるかが大事。授業はもちろんだが、家庭での声かけやコミュニケーションが大切だと思う。

子供たちの積極的な授業への参加態度が印象に残った。子供たちをテーマに引き込む先生の工夫もあったと思うが、子供たちが自ら考え発言する姿に、大きな成長を感じた。

1年生のパネルシアター的な物語説明や2年生でのグループメンバー間の意見発表等、その学年レベルに応じた授業を工夫されていると思った。

時間が足りないこともあったが、題材から問題へ結びつけることが大人でも難しいと感じた。

楽しくなりすぎて笑っている子も多く、主旨を受け止めてしっかり考えているかという疑問だった。

テーマが少し抽象的で実感がもてなかったのではないかと思います。

【講演会】

道徳が重視されるようになった背景及び自己肯定感の育み方が分かりやすく説明され参考になった。

講師の先生の話聞いて、息子との向き合い方を見直す良い機会になった。

今の子供に不足している社会性や自己肯定感などグラフを見て理解できた。それに対しての親が子供の背中を押せるようなポイントも教えていただきよかった。時間があれば、もう少し、新教育課程を作り上げる上での感想やご意見、そのときのエピソード、現場でのやりとりなど詳しく聞きたかった。

今回、初めて講演に参加させていただいた。道徳が教科になることに、親としても少し疑問をもっていたが、子供達の成長(大人になったときにどのようなことを身に付けて社会で活躍するか)を考えてのことなのだなど道徳の大切さを改めて感じた。

子供の成長への意欲を促す伝え方のポイントについて、自己肯定感を高めるために、ほめたり、勇気づけたりするなど、参考になることが多かった。

「今後の教育が目指しているもの」「子供の成長意欲を促す伝え方のポイント」が特に興味深く、今まで漠然としていた事が理解できて為になった。いただいた資料の裏にあった「子供の話に耳を傾けよう：ウェイトリー」も日常を見直すきっかけになった。

話が少し分散しすぎているように感じた。テーマに沿って話して欲しかった。

この時期は暑いので、体育館での講演はつらかった。参加する保護者が少なかったのは、その理由もあるような気がする。

レジュメとプロジェクター投影がちがっていたので、プロジェクター投影部のプリントが欲しかった。

たくさんの方に授業参観、講演会にご出席いただきありがとうございました。いただいたご感想、ご意見を参考に、道徳授業、講演会の改善をより進めてまいります。

ご質問ご意見等ございましたら、遠慮なく副校長までご連絡ください。

9月行事予定

- 1日(土) サタデースクール
3日(月) 始業式 委員会活動(5校時)
4日(火) 安全指導日
6日(木) 特別時程 連合水泳記録会6年
7日(金) 図書集会 連合水泳記録会予備日
8日(土) 学校公開日 一斉防災訓練(引き取り訓練)
9日(日) 小P連練馬・光が丘地区ソフトボール大会
10日(月) プール納め クラブ活動 ハッピータイム
文化芸術による子供の育成事業ワークショップ(5・6校時)
読書週間始
11日(火) 身体計測6年 保護者会2・3年
12日(水) 身体計測5年 保護者会4・5年
13日(木) 身体計測4年 図書館見学2年
14日(金) 移動教室前日健診6年(13:10)
15日(土) 第2回PTA運営委員会
校庭個人開放始(15:00~)
16日(日) 小P連練馬・光が丘地区ソフトボール大会予備日
17日(月) 敬老の日
18日(火) 岩井移動教室6年 身体計測3年
19日(水) 岩井移動教室6年 身体計測2年
月曜時間割
20日(木) 岩井移動教室6年 身体計測1年
21日(金) 岩井移動教室6年
23日(日) 秋分の日
24日(月) 振替休日 小P連練馬・光が丘地区卓球大会
26日(水) 研究授業4年1組(4年1組以外4時間授業)
27日(木) 図書委員による読み聞かせ1・2年
学校保健委員会
28日(金) 読書週間終
29日(土) 向山地区祭

一斉防災訓練(引き取り訓練)

8日(土)に引き取り訓練があります。引き取りが可能な方は、4月当初にご提出いただいた「引き取りカード」に記載された親族の方のみです。ご確認をお願いします。

土曜の校庭開放が始まります

15日(土)から始まります。詳しくは、「向山小学校 応援団だより」をご覧ください。

生活目標

「チャイムの合図を守りましょう」

あいさつ目標

「『おはよう』は、相手の目を見て元気よく」

保健目標

「皮ふをきたえ丈夫なからだをつくろう」

給食目標

「すききらいしないで食べましょう」

安全教育

学校では、児童が安全に生活できるように教育活動を行っています。毎月の避難訓練や安全指導を通じて、「危険を予測し回避する能力」を育成しています。これは、身の回りの危険に気付いたり危険を予測したりして、安全な行動をとることができるようにするものです。

8日(土)に実施される防災訓練は、安全教育のもうひとつの柱である「他者や社会の安全に貢献できる資質や能力」の育成もねらいとしています。危険な状況に気付いたときに速やかに知らせる態度や、自分自身の安全だけでなく身近な人々の安全にも気配りをする態度、災害時のボランティア活動の大切さの理解や応急手当の技能など、学年の発達段階に応じた内容を指導します。

当日は学校公開日ですので、多くの方に参観していただき、ご家庭でも安全な生活について話題にしてくださいませようお願いします。

生活指導主任 川邊 真嗣

9月10日(月)～28日(金)は、

向山小・秋の読書週間です。

5月に募集しました寄贈本は、良本が多数集まり、早速学級文庫として各教室で児童の手に渡っています。ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

夏休み中には、新しい本が向山小の図書館にたくさん届きました。10日から始まる読書週間で、ぜひ新しい本を読んでほしいです。読書週間では、次のようなことに取り組みます。

- ・図書館支援員 保谷先生と連携した図書の授業を行う。
- ・積極的に読書の時間を確保する。
- ・図書委員による図書集会を行う。
- ・図書委員が低学年へ読み聞かせをする。
- ・保谷先生による休み時間の読み聞かせタイムを実施する。
- ・貫井図書館と連携して、授業で必要な本を「団体貸し出し」として長期間借ります。

向山小ならではの読書週間です。子供たちがたくさん本を手にとり、心豊かに成長していくことを願っています。

図書担当 近藤 梓